

東北における 復興ツーリズムの推進に向けて

東日本旅客鉄道株式会社
くらしづくり・地方創生部門
部門長 小崎 博子

2023年11月10日



東北における「復興ツーリズム推進」の意義 と 参画団体の役割



復興ツーリズム推進に向けた「マーク・スローガン」の制定



これから私たちが取り組んでいくこと

みんなで創り上げる（目指す）姿

- ・ 世界にも通用する **学びの場** としての 東北
- ・ 訪問者の **ココロ**が豊かになる 東北
- ・ 国内外から繰り返し訪問される 東北

若年層 への訴求

全員で
磨き上げ

- ・ 他に類を見ない **防災・減災プログラム**
- ・ 「東北ならではの」のここではない **自然・歴史文化 体験**

東北復興ツーリズム推進ネットワーク

東北エリアへの交流人口の拡大を通じた

復興の加速 地域の活性化

- ・ **教育旅行、企業研修** の誘致推進
- ・ 旅行商品の造成
- ・ コンテンツの情報集約
- ・ モデルコースの整備

探究学習
との親和性

伝承・学び

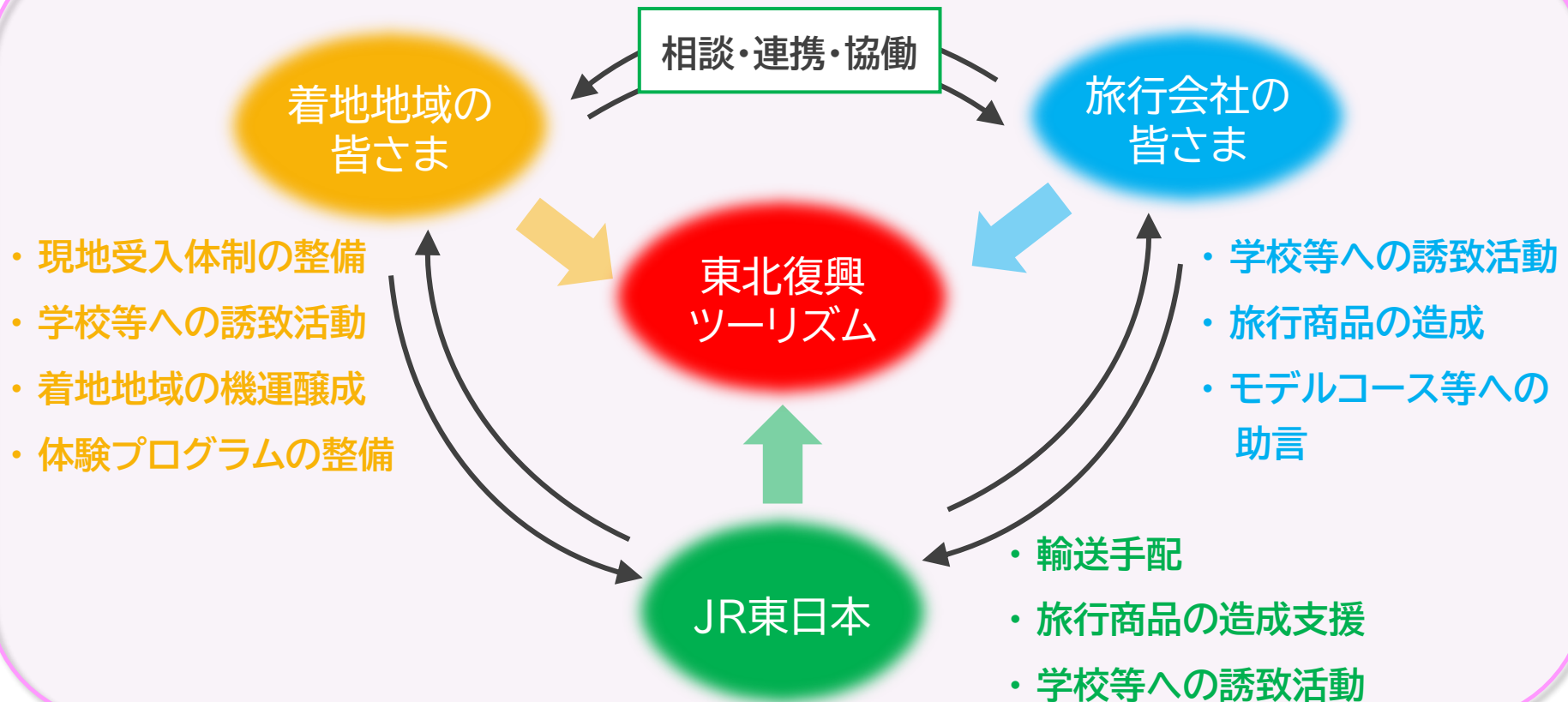
東日本大震災の教訓や災害への備えを学び、
後世に伝えていく**防災・減災プログラム**

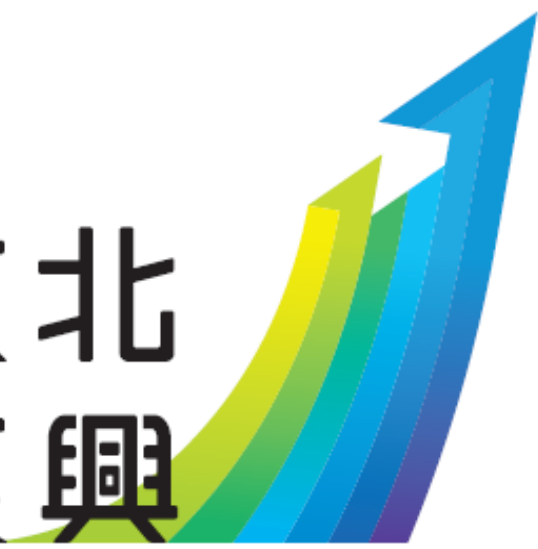
取り巻く環境

- ・ 震災から12年
- ・ 震災伝承施設の整備が進む

ネットワーク内の連携を通じて、それぞれが持つ知見・ノウハウといった強みを最大限活かして、東北への教育旅行の誘致に取り組む

ネットワーク参画団体全体で創り上げる





東北
復興
リズム

希望と学びを未来へ。

マーク・スローガンに込めた意味

- ・東北地方のカタチをイメージさせる6本のライン
- ・上向きの矢印は 東北に行こう 東北の未来へ 希望・発展 を力強く表現
- ・東北の 空 や 海、山 や 大地 を想起させるグラデーション

東北にしかない
体験価値



教育旅行としての
必要要素

- ・ 震災伝承施設の見学や語り部の講話を通じて学ぶ防災・減災プログラム
- ・ 自然・歴史・文化・郷土料理・温泉などの東北ならではの自然・伝統文化体験



- ・ 体験学習や自主研修の機会
- ・ 農泊や民泊といった地域・住民とのふれあい
- ・ 定められた予算内での体験価値の最大化

探究学習
との親和性

震災を経験したからこそ、東北でしか体験できない
希望と学びを未来へつなぐ 教育旅行モデルコースの整備

震災伝承施設 や 震災遺構の訪問促進



- ・ 震災伝承施設や震災遺構を組み入れた旅行商品の造成に対する支援

教育旅行担当者 への 情報提供

- ・ 旅行会社さま向けの 観光素材説明会 での教育旅行に関わる **情報提供・発信**
- ・ 旅行会社の教育旅行担当者さま向けの FAMツアーの実施



取り組み③ 各種コンテンツの 情報集約、発信

意義

ロゴ・
スローガン

取り組み

情報発信チャネルの更なる強化

- ・JR東日本ホームページ内に
「**東北復興ツーリズム**」サイトを開設
- ・ 鉄道利用のお客さまをはじめ、一人でも
多くのお客さまとの **タッチポイント創出**

震災から得た**教訓**や**防災への備え**を学び、
日本の原風景が残る**東北の魅力**を
後生に伝えていく **東北旅の魅力**を発信



(イメージ)東北復興ツーリズムHP

東北方面 への 輸送体制

- ・列車の **輸送ニーズに合わせた**

柔軟な列車手配のご提案

(連合体輸送・学生集約臨・増結対応 ほか)



受入先地域 との 更なる連携強化

- ・教育旅行の受入先地域 との **緊密な情報連携**
- ・受入地域の皆さまと 一体となった **誘致活動** 等



受け入れ先でのお出迎えの様子

教育旅行の訪問先として 選ばれる東北に！！

7月25日(火)	東北復興ツーリズム推進ネットワーク発足 同ホームページ開設
8月22日(火)	第1回 東北復興ツーリズム推進ネットワーク会議
11月15日(水)	JR東日本旅行会社向け観光素材説明会
11月29日(水)	第2回 東北復興ツーリズム推進ネットワーク会議
2024年1月～2月	旅行会社の教育担当者さま向け FAMツアー開催

【参考】JR東日本グループのウポポイ送客への取り組み

■ 「TRAIN SUITE 四季島」 ウポポイ下車観光

[車内のご案内](#)
[旅の行程のご案内](#)
[資料請求・旅のお申し込み](#)
[オリジナル商品のご案内](#)
[運載コラム](#)
[地域をつなぐ懸け橋に。](#)

観光

ウポポイ（民族共生象徴空間）

北海道の南西、太平洋に面した白老町に2020年オープンしたアイヌ文化を復興・発信する施設「ウポポイ（民族共生象徴空間）」。

先住民族であるアイヌの人々の暮らしや育んできた文化、歴史等を充実の展示で紹介する「国立アイヌ民族博物館」、またユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」やムックリ（口琴）の楽器演奏といった伝統芸能を観賞することができる「体験交流ホール」など、自然豊かなポロト湖のほとりではアイヌ文化の多彩な魅力に触れていただきます。

4月～11月コース
2022年度:23回
2023年度:23回(予定)



白老駅停車中「四季島」

■ JR東日本びゅうツーリズム&セールスHPでの北海道方面告知

[出発地選択](#)
[選択してください](#)

[メルマガ登録](#)
[ご利用ガイド](#)
[よくあるご質問](#)
[ご予約内容確認](#)

ひとり旅

出張・ビジネス

温泉旅行

秋の旅

北海道・白老

ウポポイ（民族共生象徴空間）

本画像はイメージ図です。（公営）アイヌ民族文化財団提供

北海道白老町（しらおいちょう）ポロト湖畔に誕生した、アイヌ文化復興と発展のためのナショナルセンター。先住民族アイヌの歴史と文化を主軸とした日本初の国立博物館のほか、体験型フィールドミュージアムとなる国立公園で、伝統芸能の上演や多様な体験プログラムを通じてアイヌ文化を体験できます。

公式サイト [ウポポイ（民族共生象徴空間）](#)

アクセス
JR「札幌駅」から特急列車で約65分、またはJR「函館駅」から特急列車で約180分、JR「白老駅」下車、徒歩約10分。

おすすめの宿

ウポポイ外観のイメージ

登別温泉など
周辺宿泊施設
との組合せ